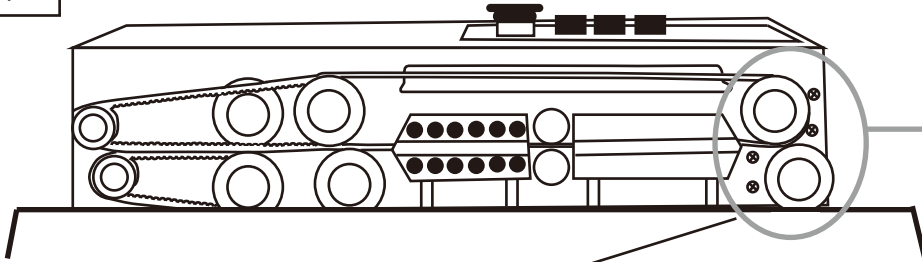


テフロンベルトがローラーから外れてしまう際の調整方法

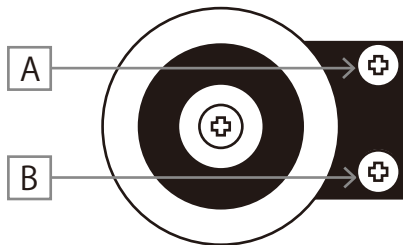
症状：ベルトがローラーから外れてしまう、内側に入ってしまう

図1



※この調整になります。
1度にたくさん回さず、
微調整してください。

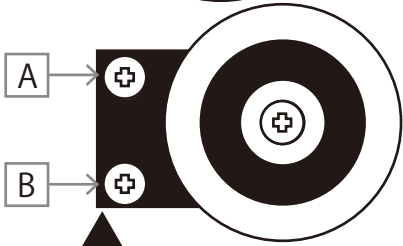
拡大図



● AのネジはBのネジの動きを補助する様な役割

Aのネジ(上のネジ)は受けにネジ山がないので、締めてもベルトが内側に入る事はありません。締めるとベルトが外側に出る形になります。(緩めてもあまり意味がありません。)

● 調整はBのネジで行います。

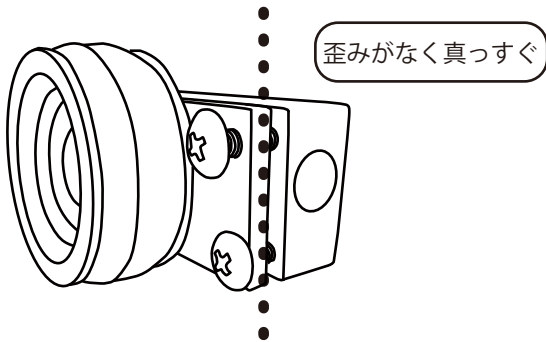


基本的にはBのネジ(下のネジ)の締め・緩め具合の調整がローラーを走る、テフロンベルトの位置において重要になります。(おおよその位置はここで決まります。)

Bのネジは締めると内側に、緩めると外側にベルトが動きます。初めからベルトが完全に外れてしまう場合、速度はゆっくりで、ベルトの位置が安定したら速度を高速にして目視で微調整してください。(※メモリ6~8の高速稼働を推奨します。)

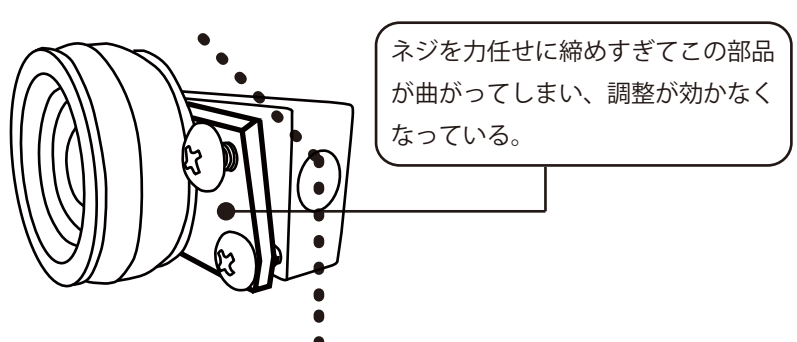
注意 ⚠️ 黒い土台自体はアルミ製品の部品になる為、上記の調整でネジを力まかせに締めると部品が変形する恐れがあります。絶対に力任せにネジを締めないでください。

図2 新品時、良い例



歪みがなく真っすぐ

図3 悪い例



ネジを力任せに締めすぎてこの部品が曲がってしまい、調整が効かなくなっている。

※図3のように部品が変形してしまい、締めや緩めの調整が出来ない場合は黒い土台を部品ごと交換する必要があります。